型紙清竹

KATAGAMI KIYOTAKE

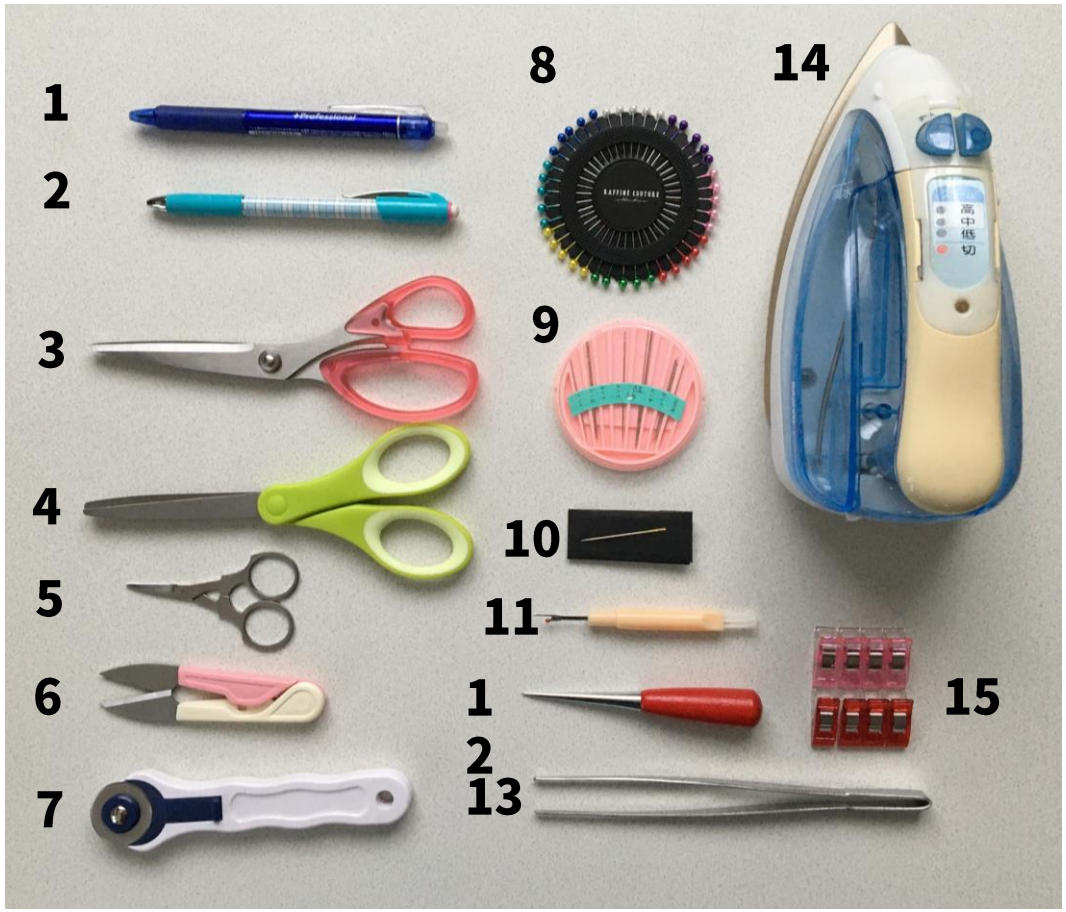
FILL THE WORLD WITH"HANDMADE GOODS"

"ハンドメイドグッズ"で世界を埋め尽くせ。

型紙ツキノワグマS作成マニュアル

1. 使用する道具一式
2. 裁断した型紙一式
3. 型紙の写し方工程
4. ミシンの各工程
5. 仕上げの各工程

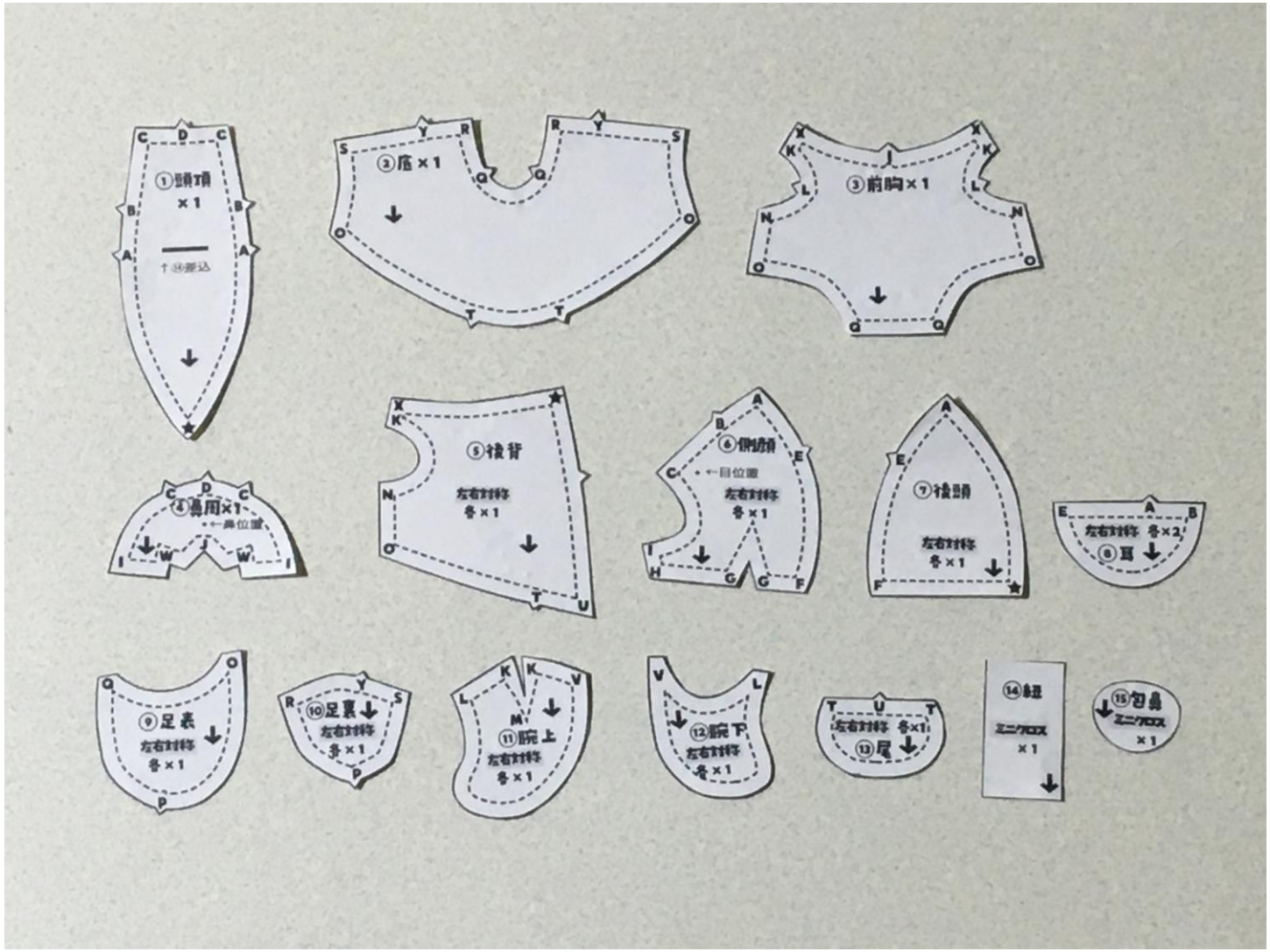
1. 使用する道具一式



1.フリクションペン
2.チャコペンシル
3.裁縫用裁ちばさみ
4.工作用はさみ
5.小さいサイズのはさみ
6.糸切はさみ
7.ロータリーカッター
8.まちばり
9.縫い針
10.ししゅう針
11.リッパー
12.目打ち
13.ピンセット
14.アイロン
15.裁縫用クリップ

必要に応じて
16.手芸用ボンド
17.ほつれ止め液
18.ぬいぐるみ用針

2. 裁断した型紙一式


①頭頂 ×1
②底 ×1
③前胸 ×1
④鼻用 ×1
⑤後背
左右対称 各×1
⑥側頭
左右対称 各×1
⑦後頭
左右対称 各×1
⑧耳
左右対称 各×2
⑨足表
左右対称 各×1
⑩足裏
左右対称 各×1
⑪腕上
左右対称 各×1
⑫腕下
左右対称 各×1
⑬尾
左右対称 各×1
⑭鼻
×1
⑮包鼻
×1

3. 型紙の写し方工程

各パーツの裁断
＜1＞ナイレックス　黒色

型紙を布の裏面に載せ、写しとります
黒色なのでチャコペンシルを使っています

または布をざっくりと切って、布と型紙をクリップで留めて型紙に合わせてハサミで切ります

＜2＞ソフトボア　うすい茶色

印をつける場合はフリクションペンがオススメ
気になるはみだしなどもアイロンやドライヤーでインクが透明になります

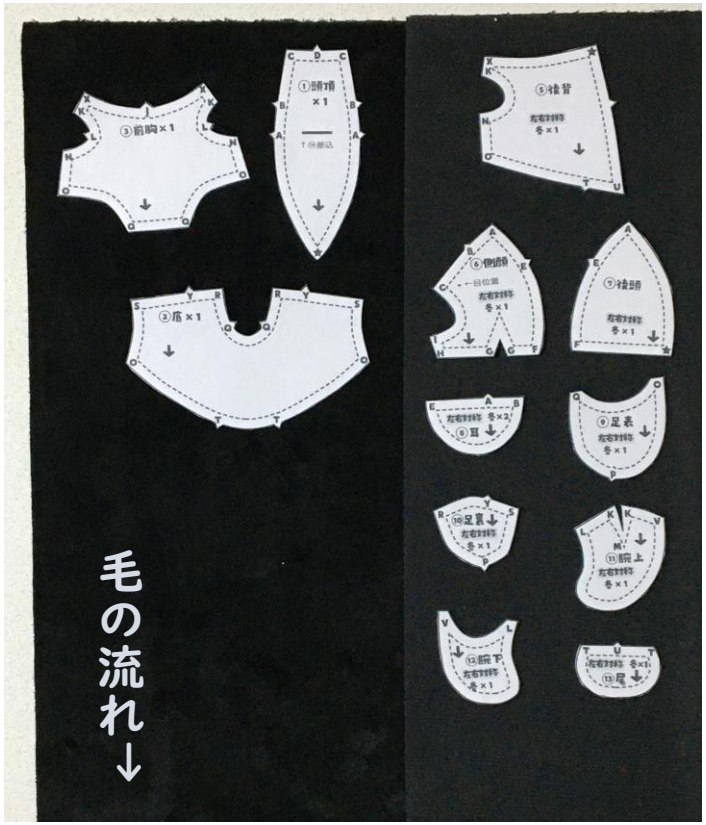
ソフトボアは毛足が長くて印がつけにくいので、型紙をクリップで留めてハサミで切るのも良いと思います

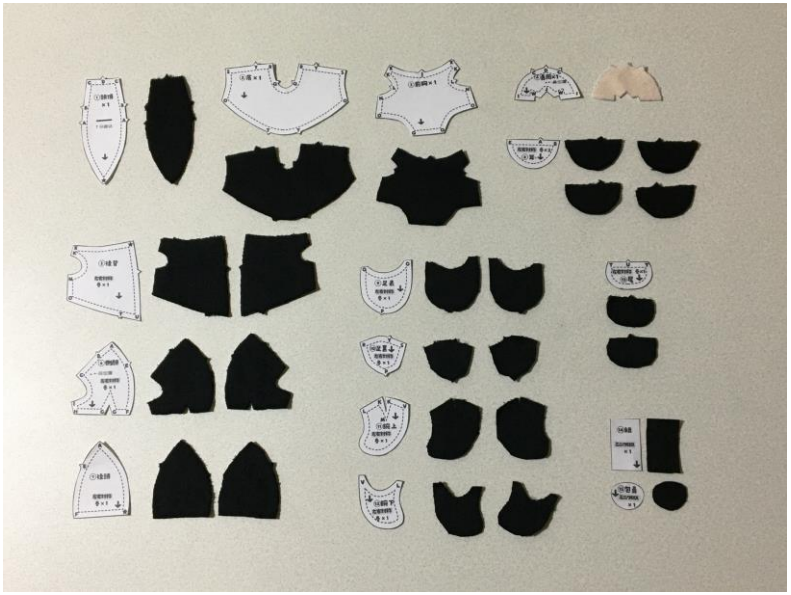
毛の流れに注意して型紙を置きます

＜3＞ソフトボア　黒色

印をつけにくいので布をざっくりと切ってクリップで型紙を留めて切ります
毛の流れに注意して型紙を置きます

左右対称にするものは布を折り返して2枚一緒に裁断すると手間が省けます
2枚重ねる場合は特にずれないように気を付けます



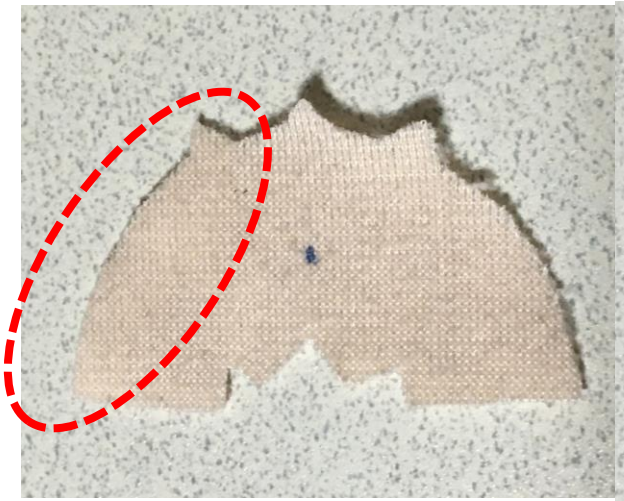


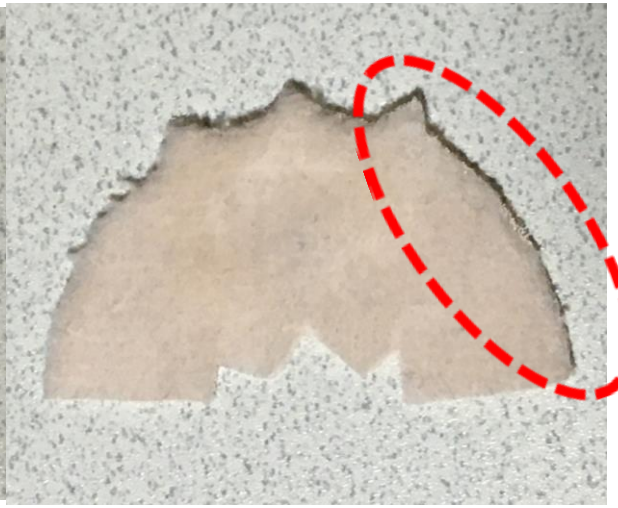
型紙8（耳）のみ2セット（4枚）つくります

ソフトボアはほつれやすいので必要に応じてほつれ止めを塗ると扱いやすくなります
乾くまでに時間がかかるのですぐ次の作業に移りたい場合には向いていません

塗った部分

1日後





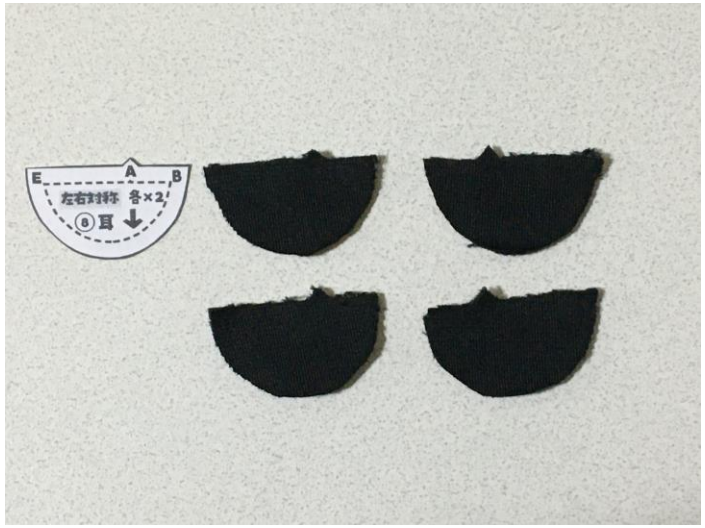
塗った部分はすこし固くなります
心配な場合ははぎれで試し塗りすると良いです

4. ミシンの各工程

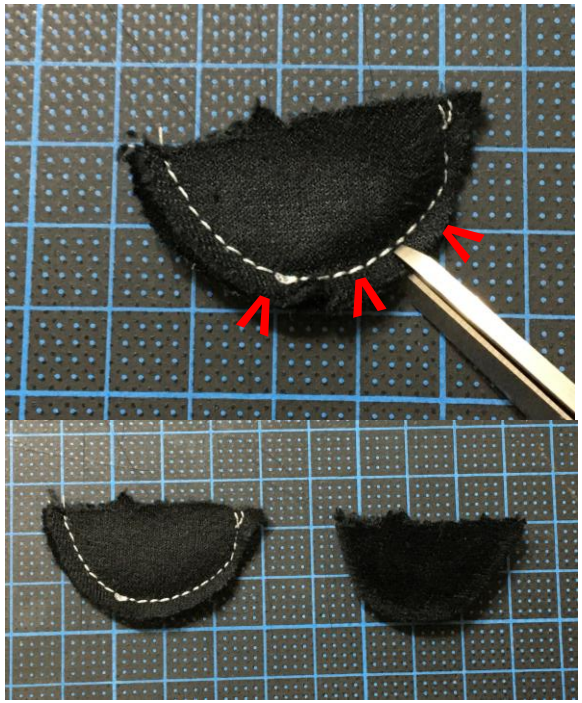
見やすいよう白色の糸を使用していますが
実際は布の色に近い色の糸を使用します

＜1＞耳

中表に合わせ、半円部分を縫います
直線部分は返し口として残しておきます



毛足が長くて中表にするとずれやすいので仮縫いをすると縫いやすいです

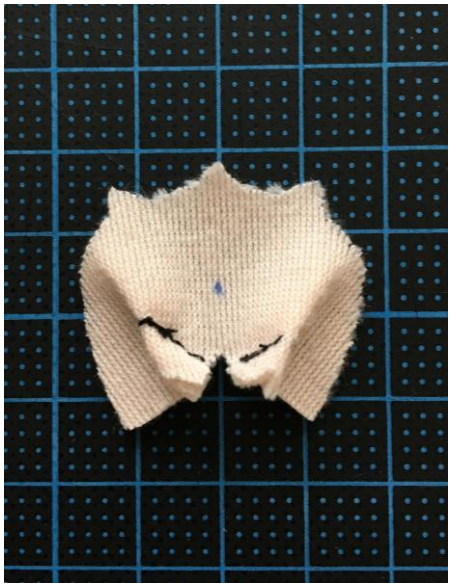


返したときに形がきれいにでるよう縫いしろに数か所切り込みを入れ返し口から返します

糸を切らないように気をつけます

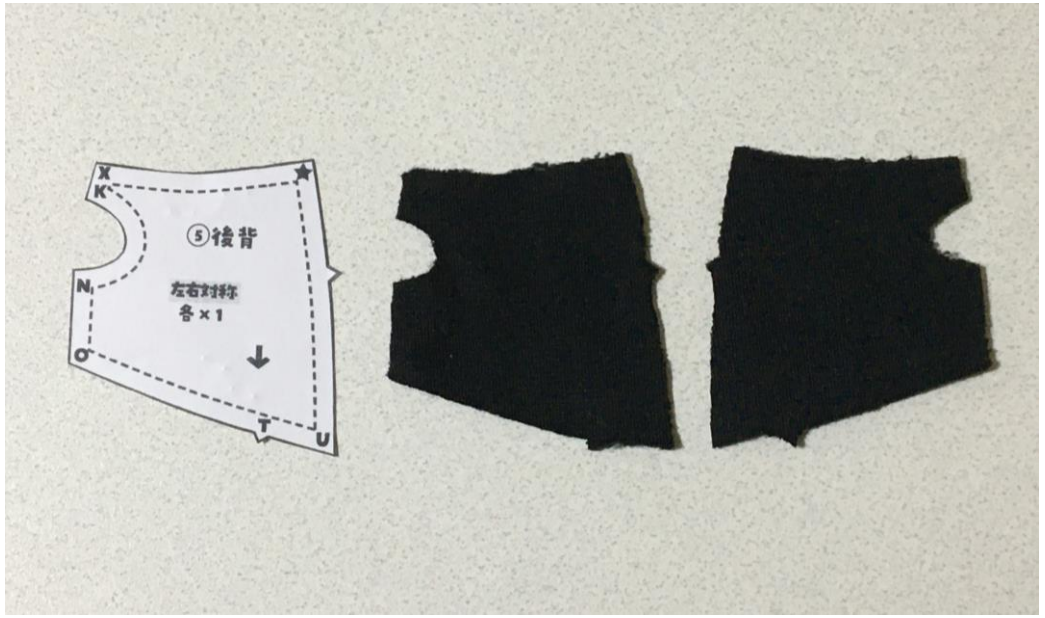
＜2＞鼻周

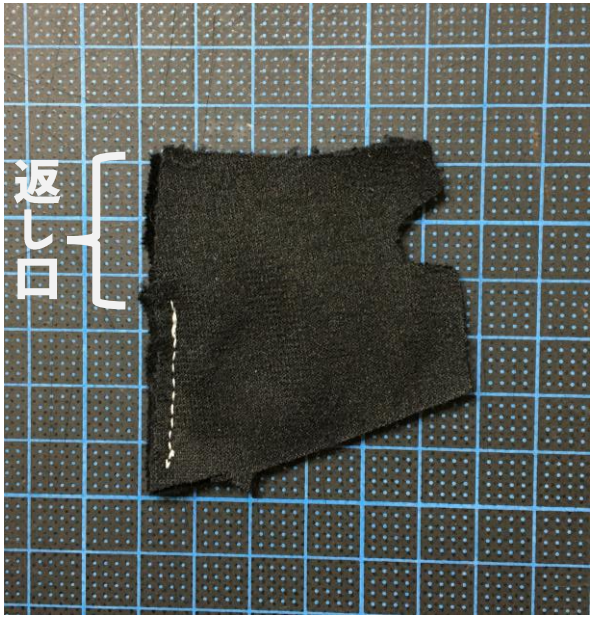
型紙4の鼻位置に目打ちで穴をあけて印をつけます
ダーツ部分（W）を中表に合わせて縫います



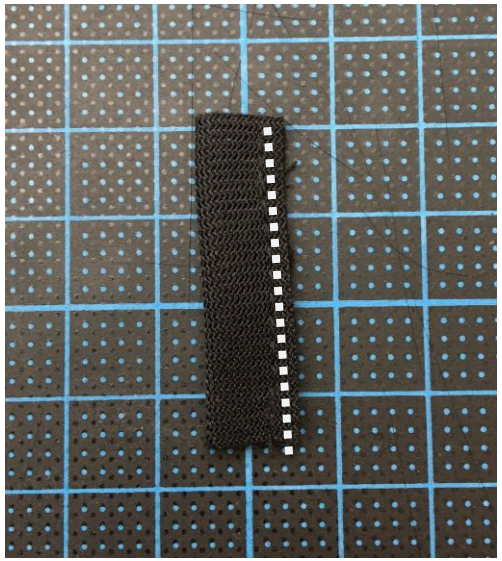
＜3＞後背

中表に合わせ、背中心をUから合印まで縫います
上半分分は返し口として残しておきます

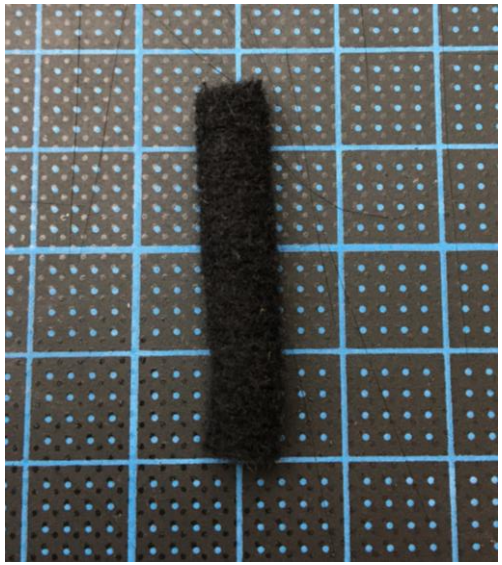




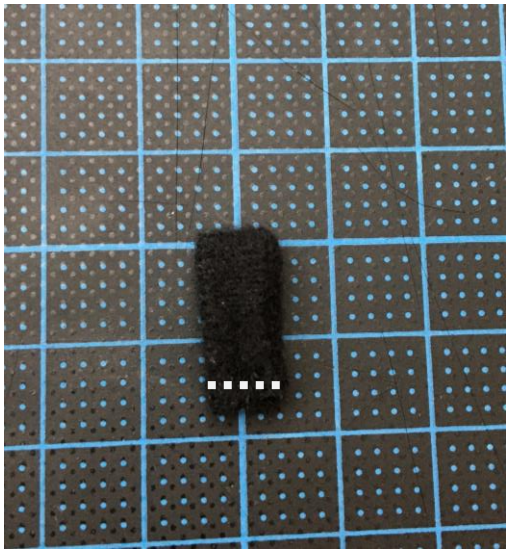
＜4＞紐～頭頂



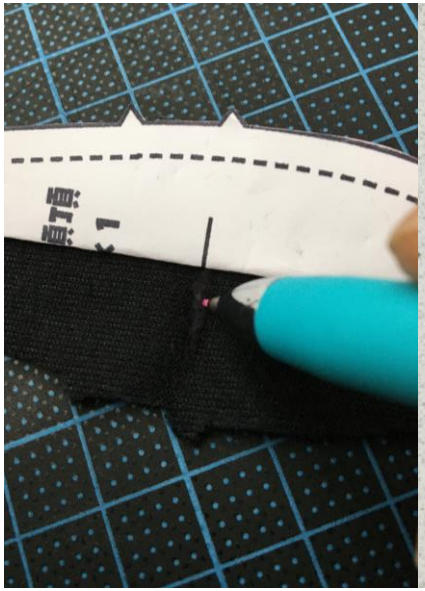
紐は縦長に中表に折り長辺を縫います



残した短辺から表に返します

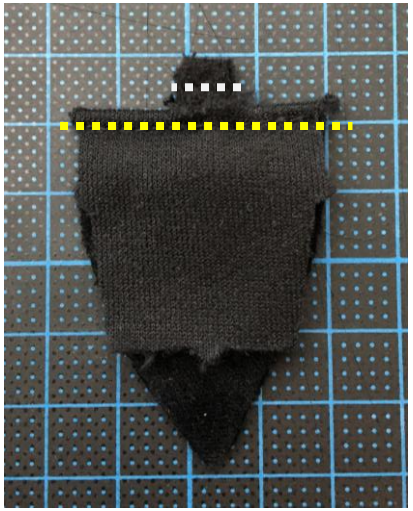


二つ折りにして返し口部分を仮止めします（白点線）



頭頂の切込みを作ります
型紙を半分に折って大体の印をつける、または糸で印をつけて少しずつ切ります

中表に折り、頭頂の切込みから紐の仮止め部分が少し出るように差し込みます

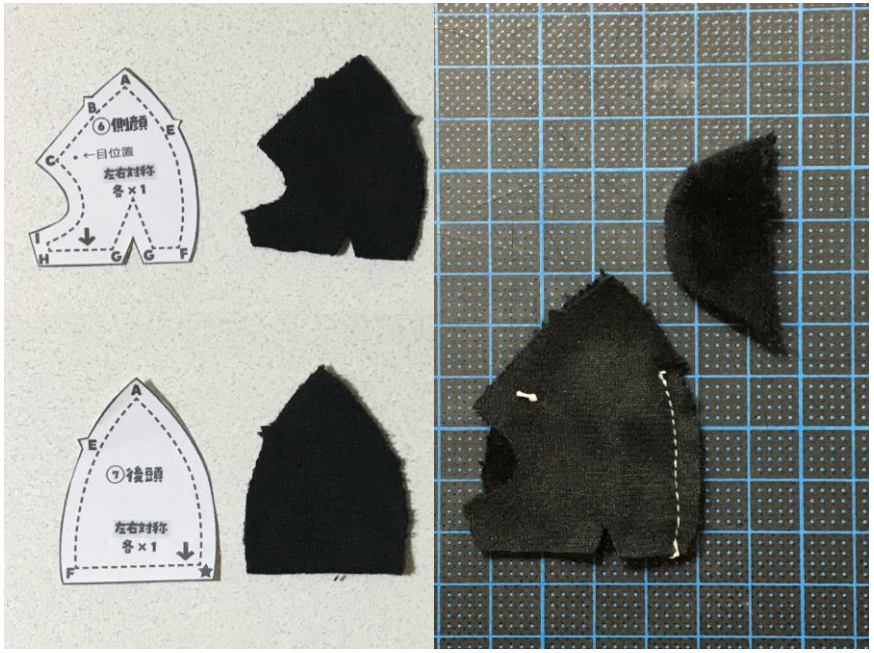


黄点線部分を縫います

＜5＞顔～頭

側顔の目の位置に印をつけます

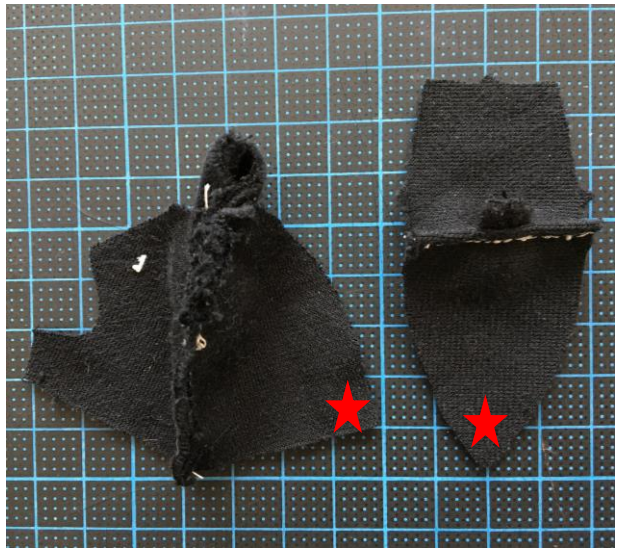
ここでは型紙に穴をあけ、糸を通して玉止めにしています



側顔と後頭を中表に重ね
F～Eの合印まで縫います

間に耳をはさんでEとAの合印を合わせ、続けて縫います

必要に応じて仮縫いすると安定します



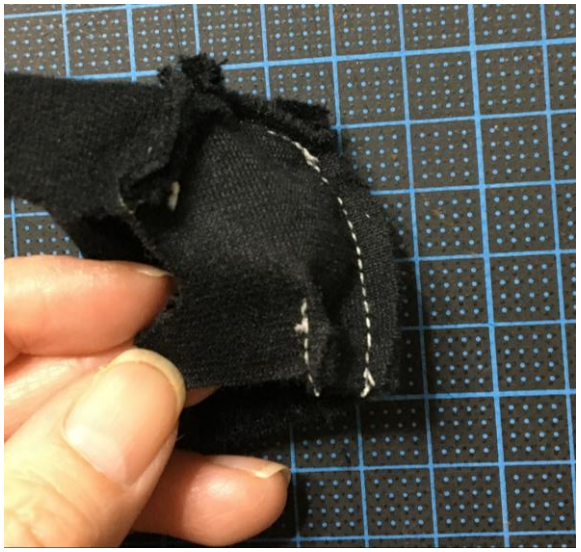
頭頂と縫い合わせます
頭頂の先端（★）と後頭の下側（★）を合わせ頭頂の合印（A）まで縫います

この後続けて縫ってもいいですが、一旦糸を切って整えてから縫ってもいいです

向きを変え、側顔のほうに進みます

側顔と頭頂に耳の残った部分をはさんで縫います
（A～B）
続けてCまで縫います

反対側の側顔も同様にします



側顔の下側のダーツを縫います

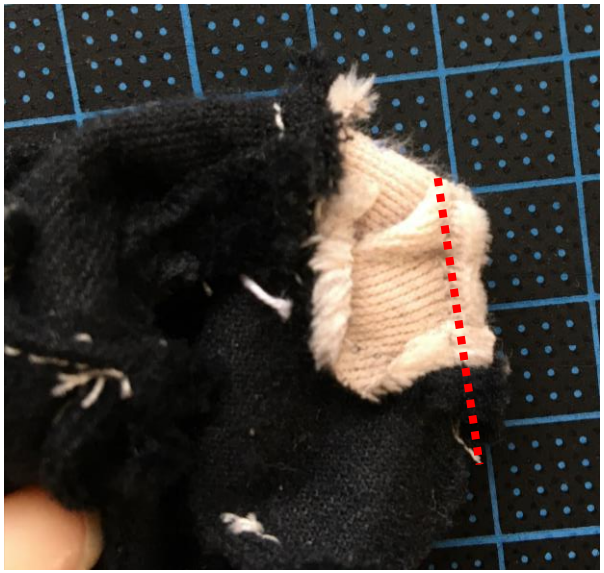
★→Aに向かう部分は片側の下半分をあけておくと返し口が広くなります

＜6＞鼻周と頭を合わせる

頭頂の合印と鼻周の合印を合わせます（D）

側顔と鼻周のI～C～D～C～Iを中表にして縫います

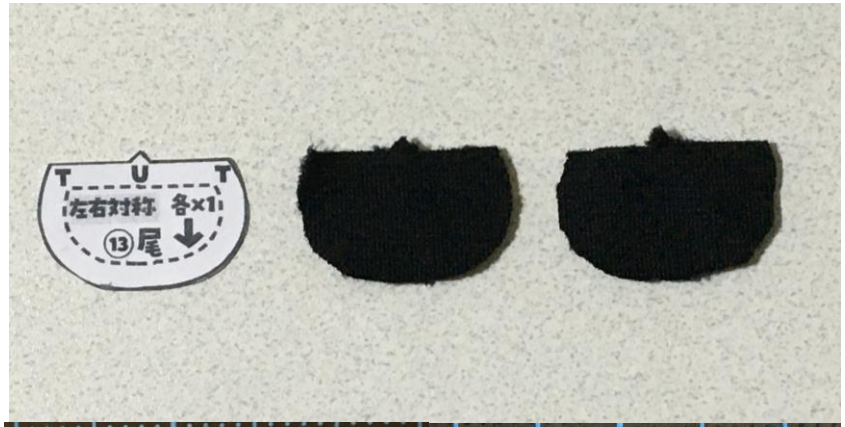
カーブになっているので仮縫いをしたほうがずれにくいです

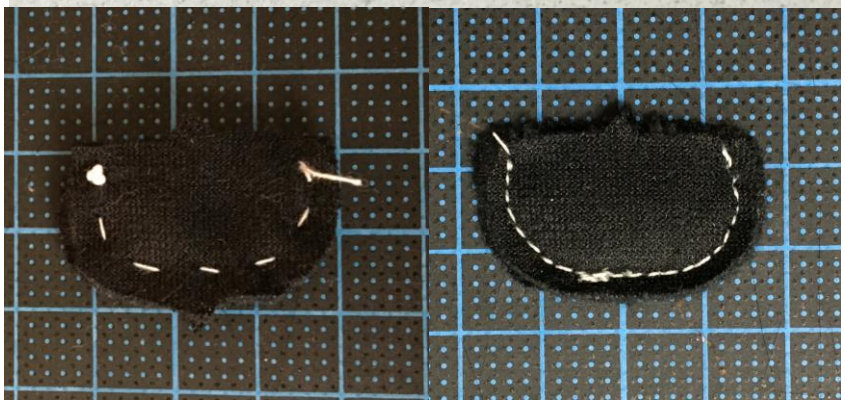


鼻周のセンターのダーツ（J）～側顔の下側（I～H）を続けて縫い合わせます
Wの縫いしろは裏表で交互になるよう倒します

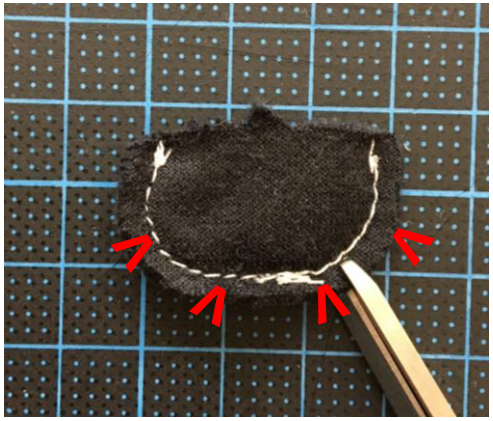
＜7＞尾

耳と同様に中表に合わせ、半円部分を縫います
直線部分は返し口として残しておきます



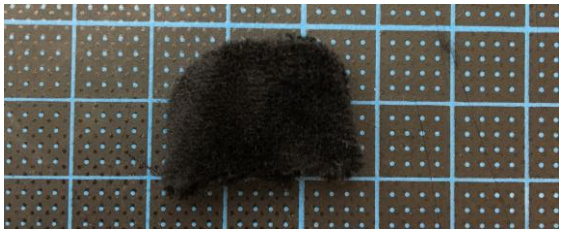


毛足が長くて中表にするとずれやすいので仮縫いをすると縫いやすいです

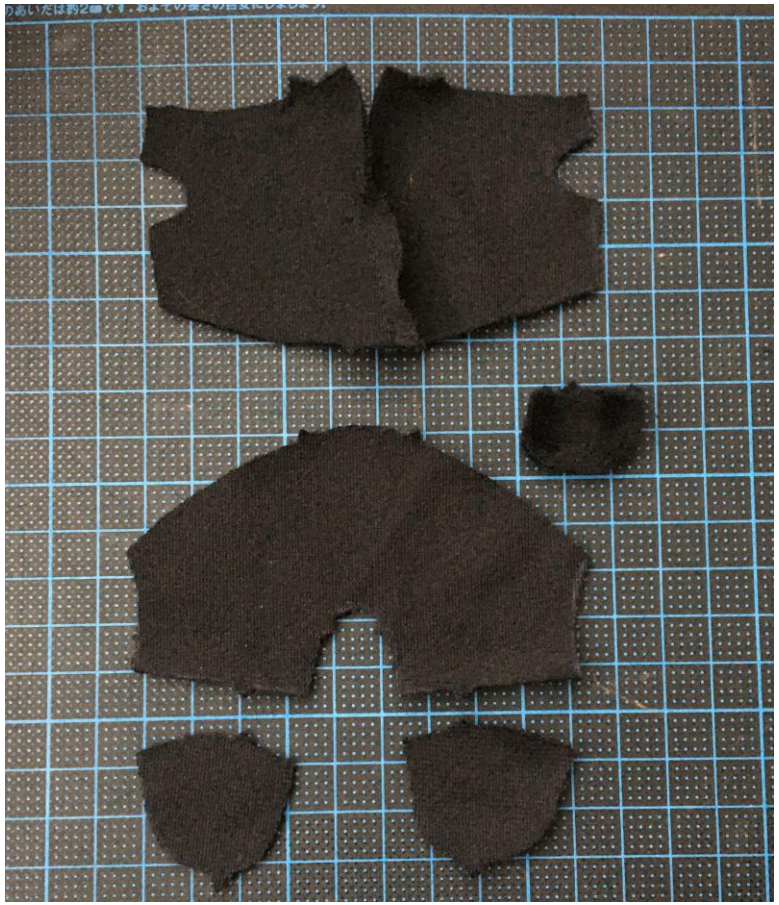


返したときに形がきれいにでるよう縫いしろに数か所切り込みを入れ返し口から返します

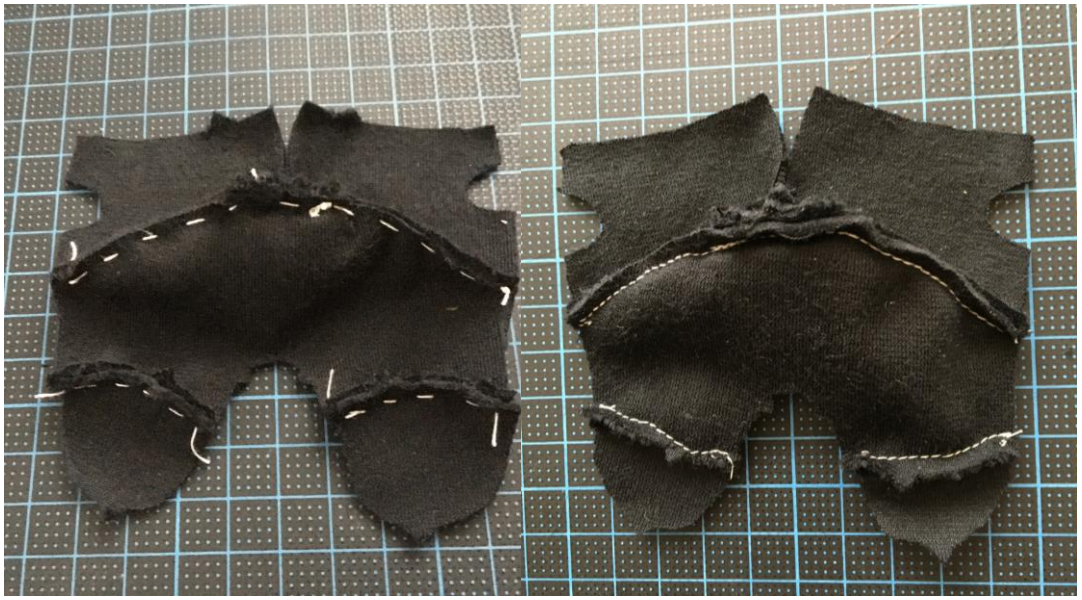
糸を切らないように気をつけます



＜8＞後背～底～足裏

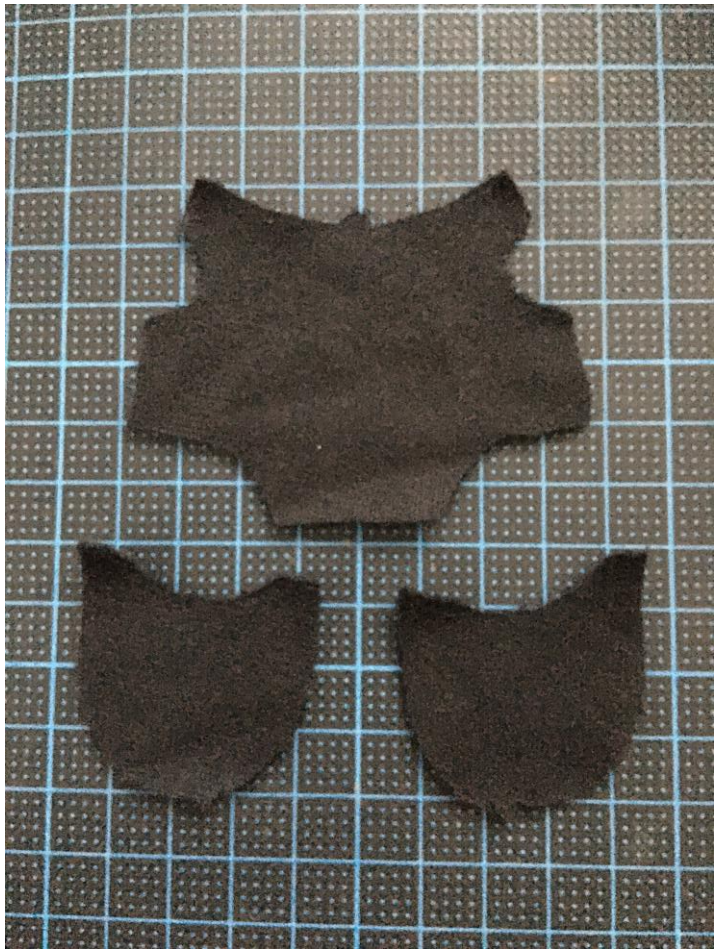


それぞれ中表に重ねて縫います
後背と底の合印部分（T）に尾をはさみ
O～T～U～T～Oを縫います
底と足裏も合印（R～Y～S）を合わせます

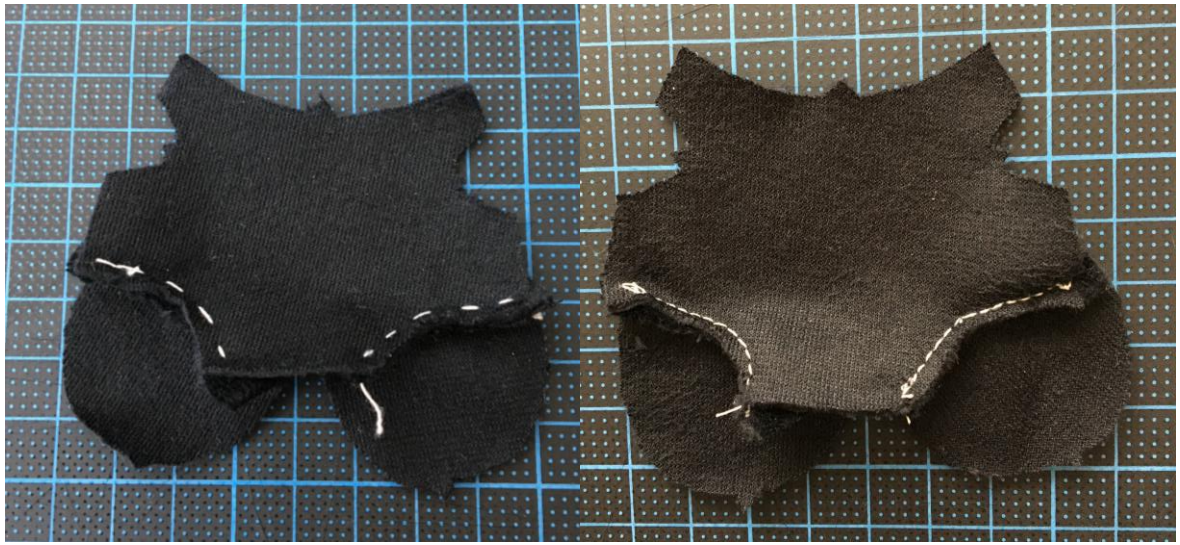


必要に応じて仮縫いをします

＜9＞前胸～足表



それぞれ中表に重ねて縫います
（O～Q）
足表は長い部分が外側になるようにします



必要に応じて仮縫いをします

＜10＞＜8＞と＜9＞を合わせる

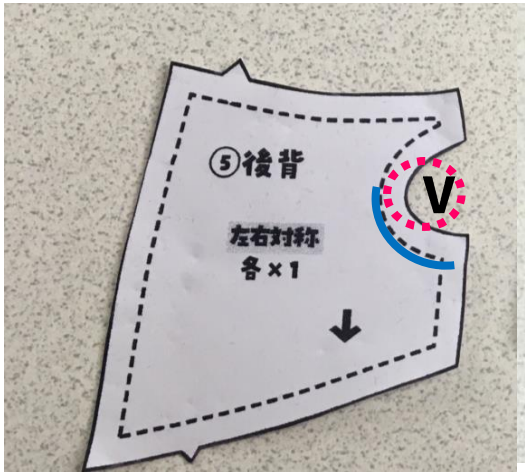
中表に重ねて腕をつけるくぼみの下（N）～足～反対側のくぼみの下（N）まで縫います

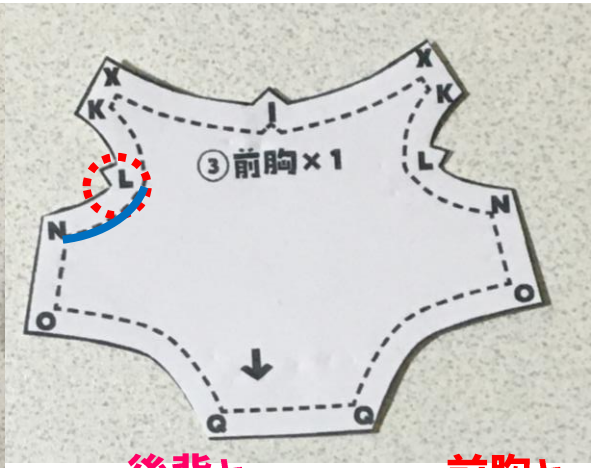
・足表の外側の付け根、底と後背のつなぎ目（O）
・足表の内側の付け根、底のくぼみの合印（Q）を合わせます

必要に応じて仮縫いをします

足先と股に切り込みを入れます

＜11＞腕下



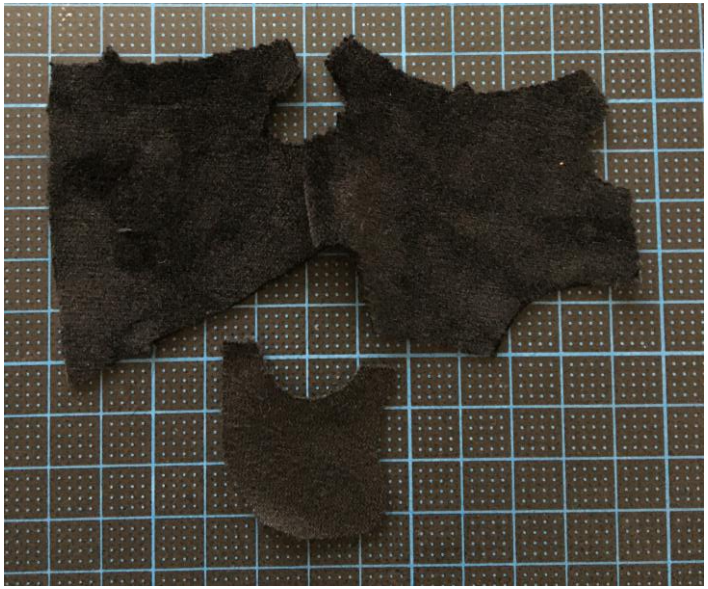


後背と
あわせる

前胸と
あわせる

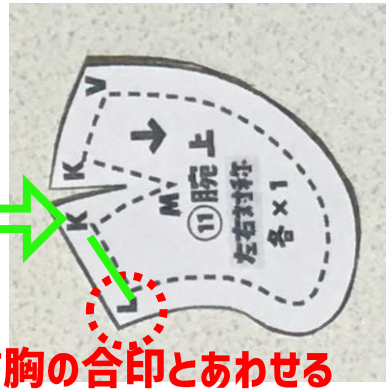
青線部分は布端まで縫わず
に縫いしろ部分をあけておく

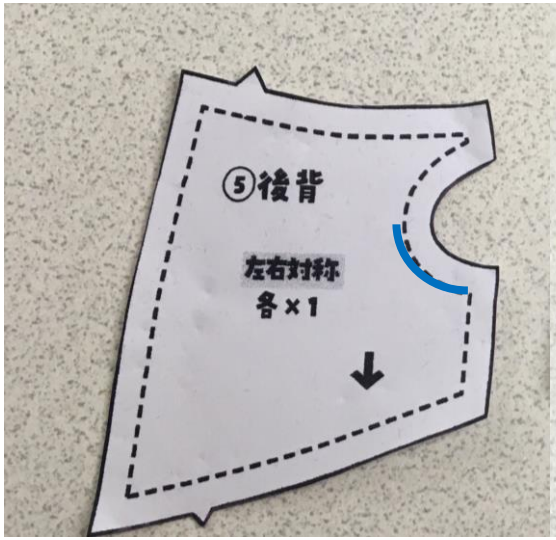
前胸・後背と腕下を中表に合わせてL～
Vまで縫います
後で腕上と合わせるので縫いしろ部分はあ
けておきます

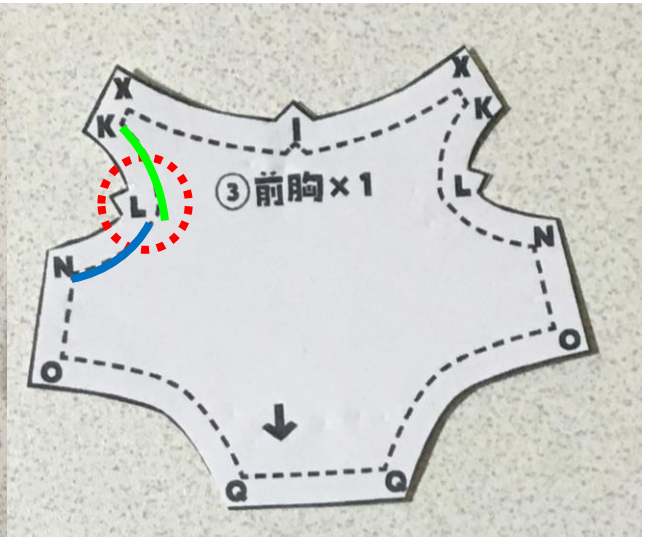


＜12＞腕上

K→Lの方向に縫うと下腕まで続けて縫えますが、慣れないうちは一旦糸を切り布地を整えてから下腕と合わせたほうがうまく縫えます

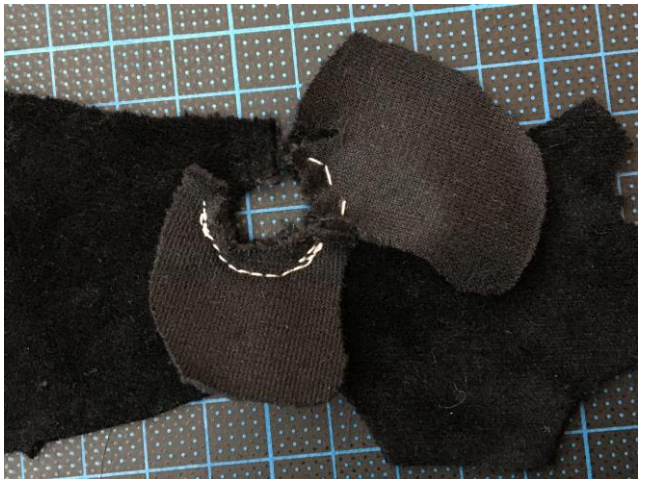


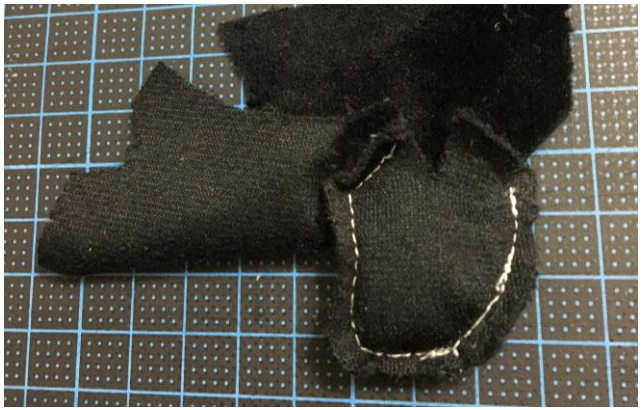


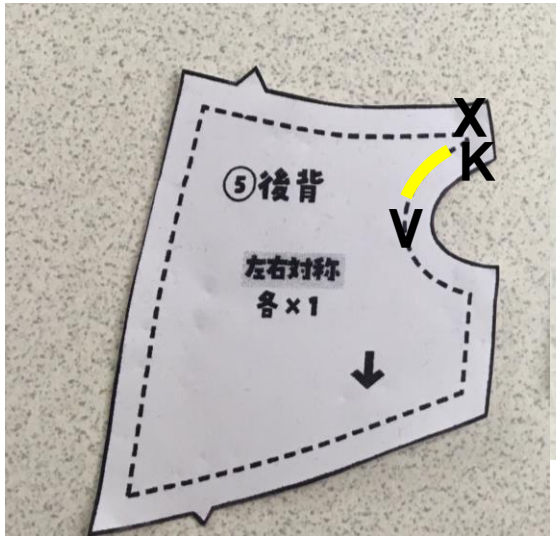


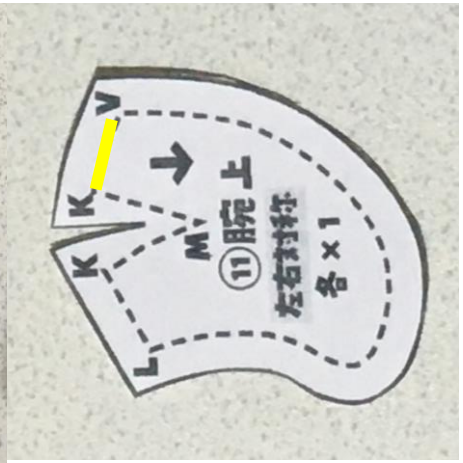
前胸と腕上ををを中表に重ねて黄緑線部分（K～L）を縫います

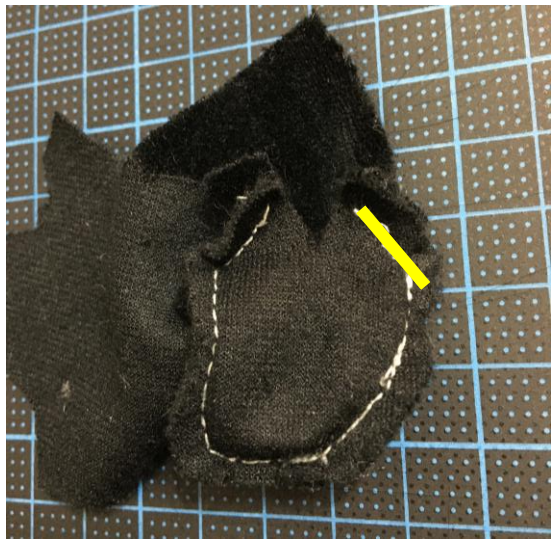
向きを変え、腕上と腕下を中表にしてL～Vまで縫います











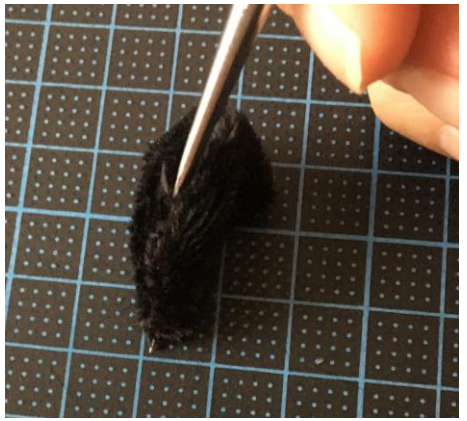
続けて後背と腕上を合わせてV～Kまで
縫い合わせます

後背と前胸の上端（X）から腕上のKのダーツ
まで一気に縫います

もう片方の腕もつけます

縫い目が
目立つとき

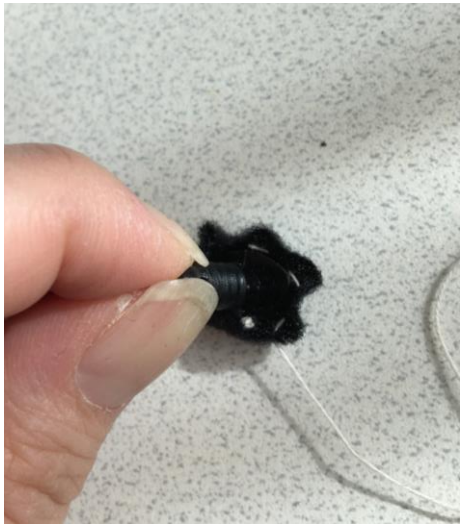
縫い目に巻き込まれている毛を目打ちなどで出してあげると

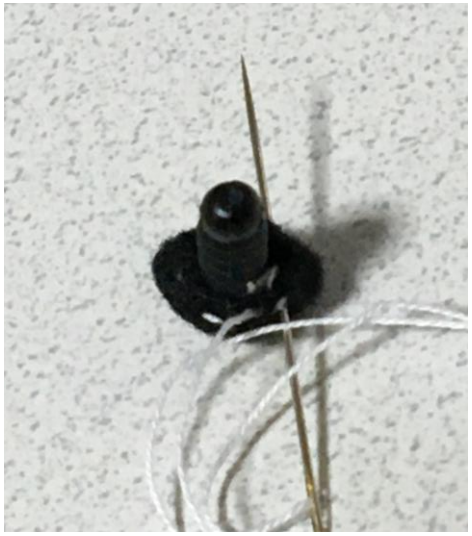


縫い目が隠れてフワフワになります

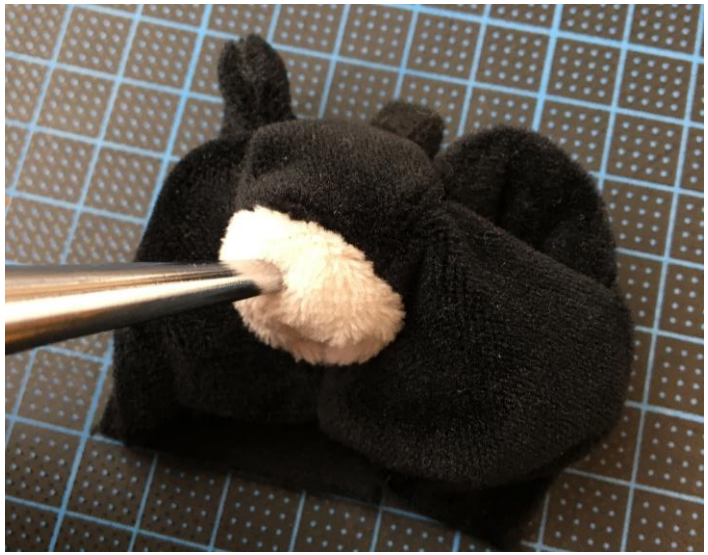
＜13＞鼻包

周りをぐしぬいして鼻パーツを入れて引き絞ります
何度か針を出し入れしてしっかりと固定し、目立たない場所で玉止めします





＜14＞目と鼻をつける（裏で留めるタイプのとき）



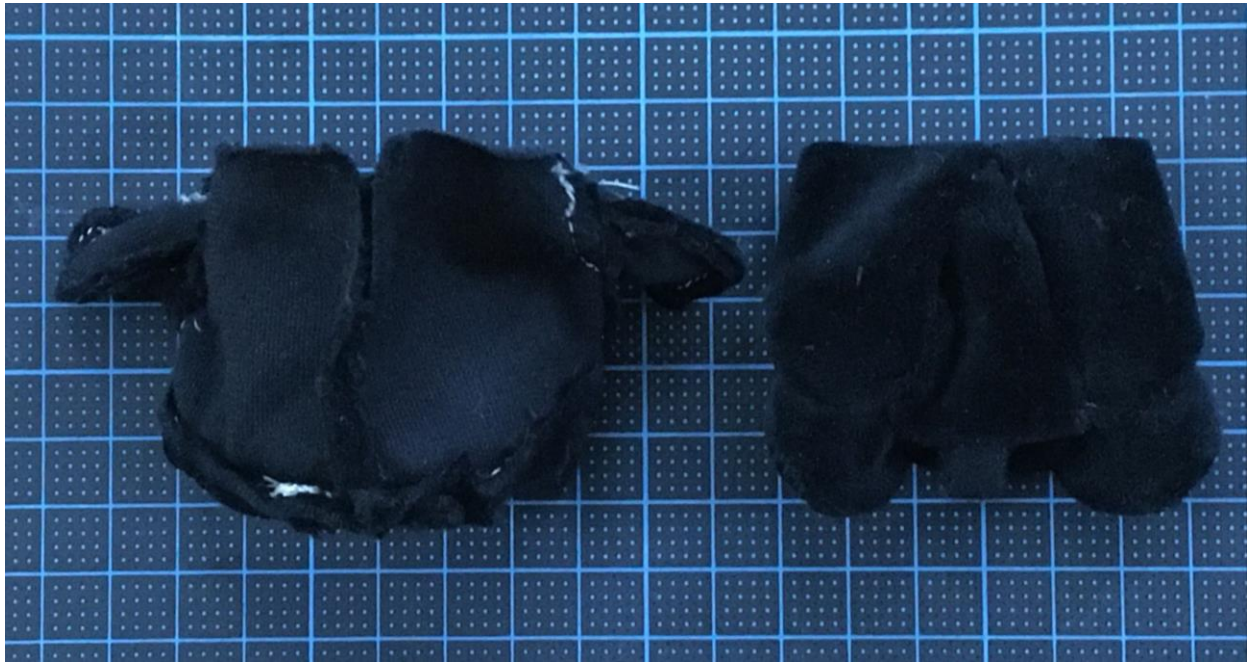
鼻と目の位置に目打ちなどで穴をあけます

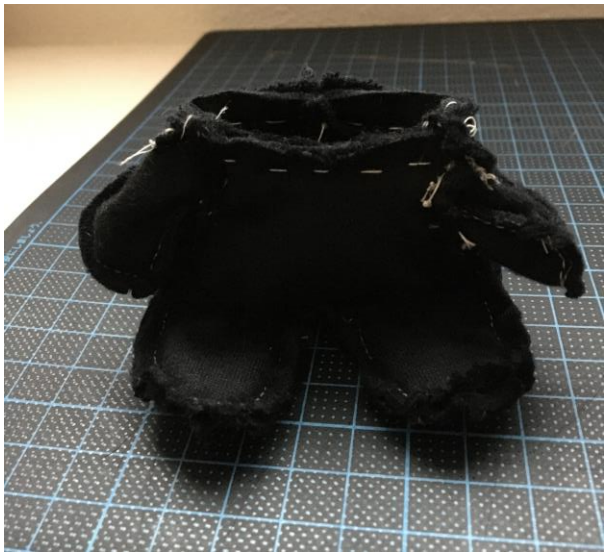
表から鼻と目を差し込み後ろからワッシャーで固定します

特に鼻は向きがあるので表から確認しながらつけます
ワッシャーで固定したら外せません

縫いつけるタイプや差し込んでボンド固定するタイプは綿を入れてから取り付けます

＜15＞頭と胴体を合わせる





中表にして一周縫います
後背と後頭の★、前胸と側顔のHを合わせます
仮縫いすると安定します

5. 仕上げの各工程

＜1＞綿をいれて返し口を閉じる

綿入れの後に鼻や目をとりつけるときはここで閉じず、取り付けた後に閉じるほうが作業がしやすいと思います

返し口から表に返します

返し口から綿を入れます
ピンセットなど先の細いもので手の先、足の先にはきつめに詰めたほうが安定します

コの字とじで返し口をとじます

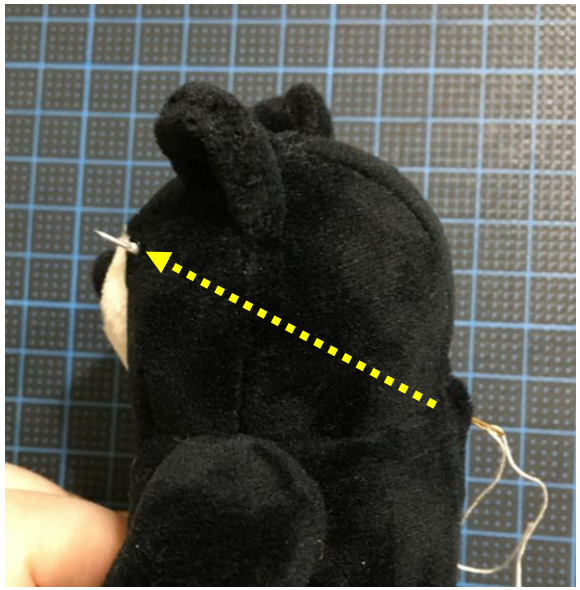
＜2＞目と鼻をつける（縫いつけるまたはボンド止めのタイプ）

鼻位置に目打ちで穴をあけます
鼻パーツがしっかり入る大きさまであけると良いです

穴にボンドを入れます

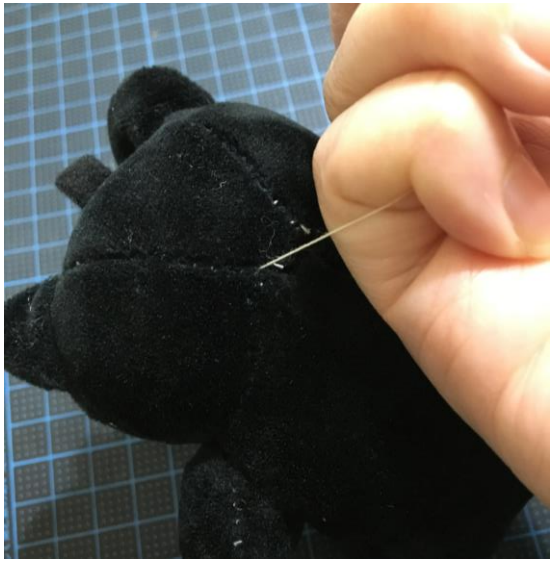
鼻パーツを差し込み、布から浮いているようならボンドを足します

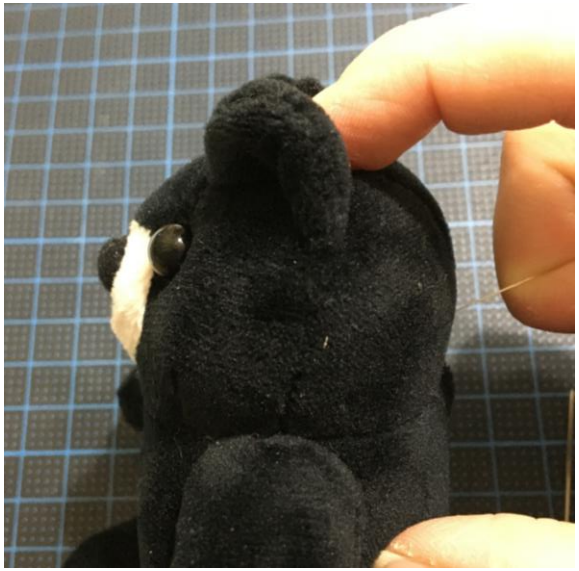
後ろの返し口から手を入れ、顔の表から挟むように抑えてもいいです

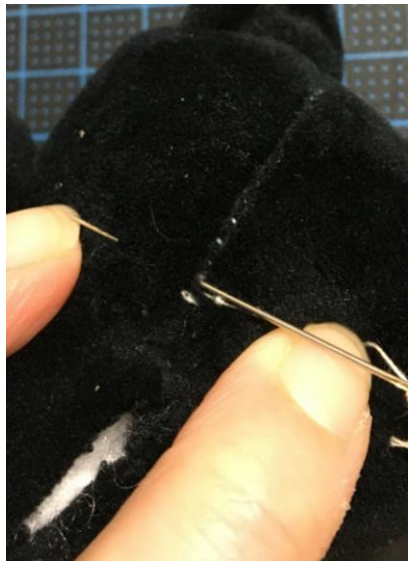


背の返し口から針を入れて目の位置に出します
ぬいぐるみ用の長めの針があるとやりやすいです

目を縫い付けて後頭部の縫い目に針を出します
引き気味にするとかわいいです
玉止めは縫い目の中に引き込むようにすると目立ちません







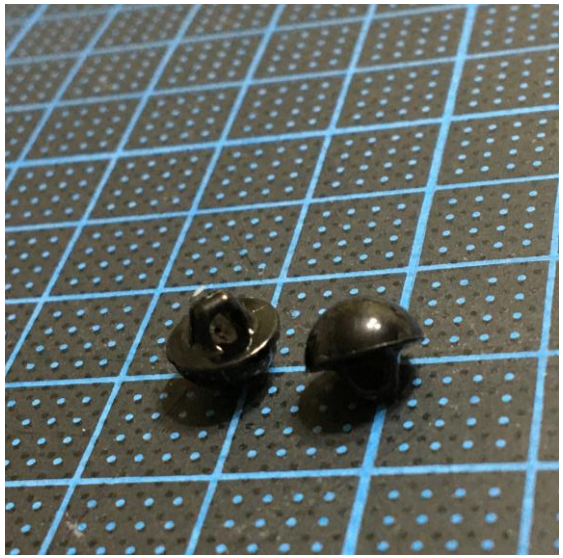
＊目と鼻の種類について＊

ワッシャーで留めるタイプ

良いところ
- しっかり固定される
- 他の道具がいらない

難しいところ
- きついものは力が必要
- つけたら外せない

縫いつける タイプ



良いところ
- 綿を入れた後にバランスを見て調整できる

難しいところ
- 玉止めの処理など苦手な場合は面倒に思うかも

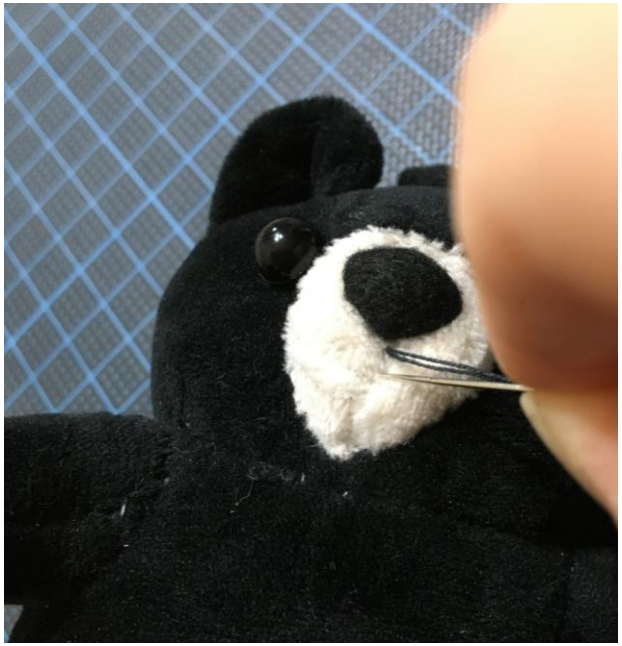
ボンドで固定する タイプ

良いところ
- 乾くとしっかり固定される
- 綿を入れた後にバランスを見て調整できる

難しいところ
- 乾いて固定されるまで時間がかかる

＜3＞顔を整える

鼻の下に口をししゅうします
黒糸2本どりがオススメ
写真は黒糸1本どりですが2重にしています



鼻の下から針を出し、まっすぐ下に入れます

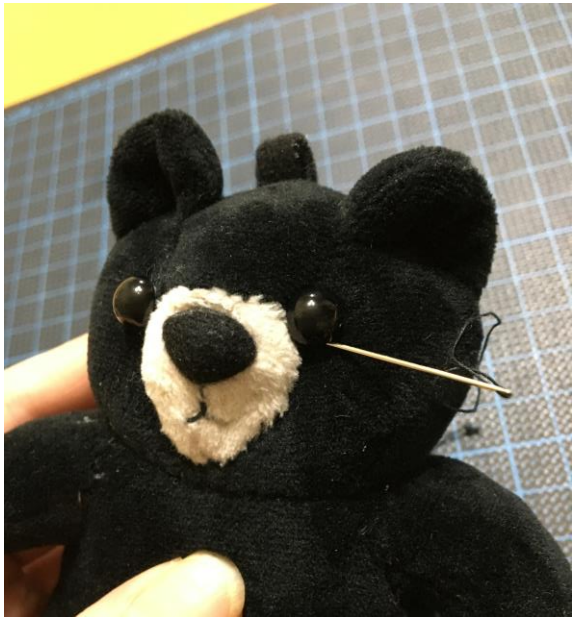
横から針を出し、

センターの糸に引っ掛けるように反対側に入れます

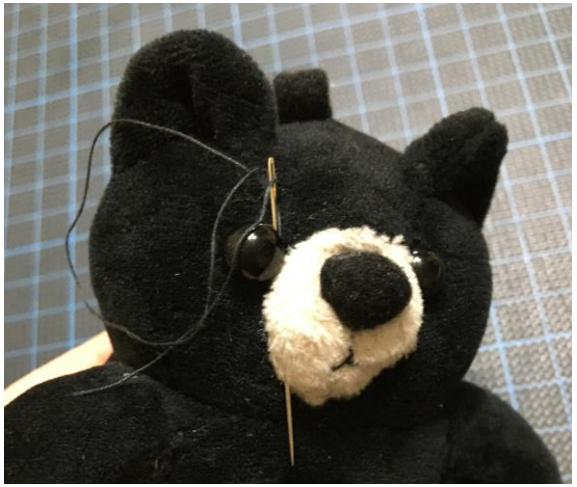
目をくぼませ、鼻周（マズル）を整えます

玉止めが目立たないよう
目の内側から針を入れ、
鼻周の下から出します

少し横にずらして針を入れ、先程の目の下に出します



目の横から針を入れて反対側の目に移ります



目の下から鼻周の下に出します

同様に整えます

＜4＞胸に模様をししゅうする

大体の位置に待ち針で印をつけます

糸で目安の線をつけています
目立たないよう黒色の糸でも良いです

縫い始めと縫い終わりはゴロゴロしないよう、玉止めせず返し縫いにしています

ここでは白色ししゅう糸2本どりですが
お好みで良いと思います

こちらも縫い始めは隠れる位置に返し縫をして、縫い終わりはししゅう部分にくぐらせます

＜5＞完成です